

一日体験 ～ カルトナーージュで小箱づくり ～



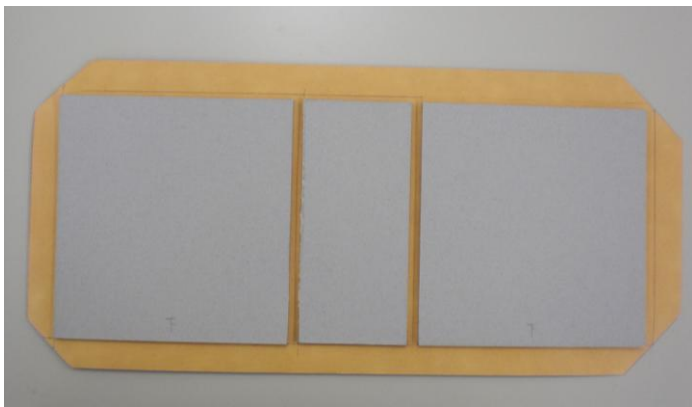
使用する道具と材料

カッター
カッターマット
30cm 定規
水のり(ボンドを水で薄めたのり)
ヘラ
はけ
厚紙
ケント紙
スキバル など



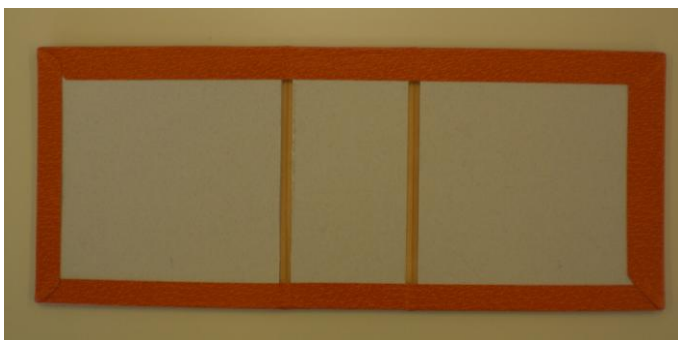
今回は体験なのですでに切っている厚紙を使います。

スキバルの上下に 1.5mm のラインを鉛筆で引きます。
厚紙を乗せる目安線ですね。



厚紙を水のりで貼ったら、角を 0.5mm の位置で斜めに切り落とします。

へりを返すときに少し残さないと厚紙のグレーが見えてしまうためだそうです。



水のりをつけてへりを返します。
四つ角はとくに丁寧に。
エッジが立ちすぎないように気を付けます。



中央にもスキバルを貼りつけます。

この部分は箱の折り返し位置。



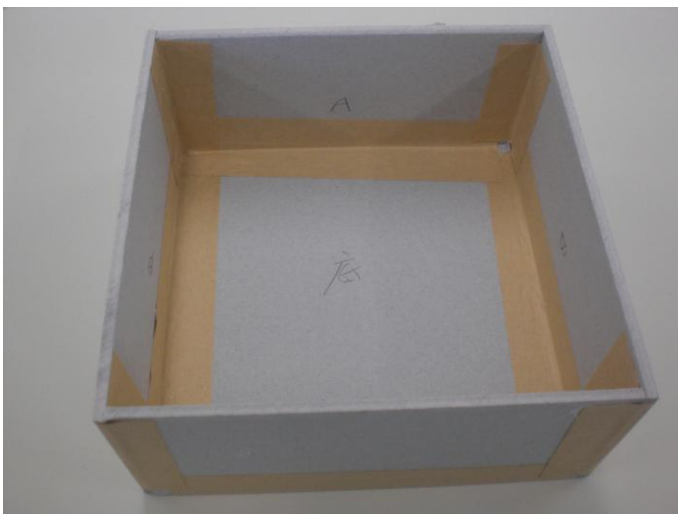
つづいて箱部分を作成します。

辺の長さが違う 2 組の厚紙と底部分の厚紙を用意し、位置を間違えないようにここでは「A」「B」とふってあります。



底部分と箱の周囲を水のりで張り合わせます。

厚さ 2.5mm の厚紙なのでノリが濁るとかなり頑丈にくっつくのでした。



水のりテープ(水をつけるとくっつく)で角を補強します。



回転させながら布を貼ります。

始まりと終わりの部分は 2mm 内側に折り曲げると美しい仕上がりになるそうです。



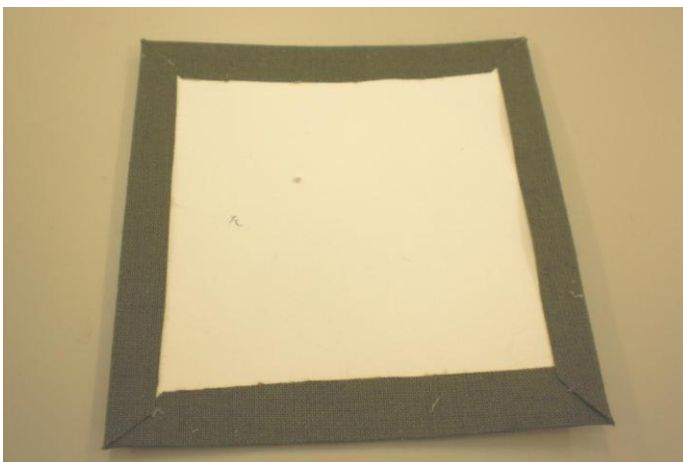
余った布を内側に折り曲げます。

底部分にはケント紙に製本用クロスを貼りつけたものを水ノりで貼りつけました。



製本用クロスは表が布地で裏が紙という仕様です。

紙部分に水ノりをつけて左右を間違えないようケント紙を貼ります。



へりを返します。



縦横の辺上に製本クロスを貼ったケント紙を水のはりつけます。



先に作成したスキバルのふた部分に箱を貼りつけます。

しばらく重みをかけておかないとはがれるようです。



ふたの裏面にも製本クロスを貼りつけたケント紙を貼って裏地にします。



完成です！！

ここまで2時間半でした。